

町を守る勇壮な 消防団の心意気

令和6年南関町消防出初式

消防出初式を1月13日、町防災広場一帯で行い、参加した消防団員と消防署員約280人が、今年1年の無災害を願うとともに、防火・防災意識の高揚を図りました。

第1会場の防災広場では式典を実施し、規律と統制のとれた分団対抗通常点検を披露した後、関川まで約350mを一糸乱れず堂々と行進しました。

第2会場の関川河畔では、消防車両21台による「二斉放水」や、頭上16mの高さに入ったボールを手押し式消防ポンプで撃ち落とす「竿頭標的落とし」、1882年から続く伝統の「放水合戦」が行われました。団員は、10数人がかりで手押しポンプのレバーを勢いよく上下させ水を吸い上げたり、川へ入り対岸の標的に筒先を構えて両岸から激しく水を撃ち合ったりして、豪快な放水合戦を繰り広げました。

